



Zscaler Risk360™：セキュリティ リスクを軽減しビジネス上の損失を回避

リスクの定量化、可視化、修正

ビジネス上の課題

セキュリティ リーダーは、データに基づいた信頼性や再現性の高い方法でサイバー セキュリティのリスクを定量化、修正、レポート化する手段を持ち合わせていません。セキュリティに関連するリスクや財務的な影響を定量化するための一般的な基準も存在しないのが現状です。主要なセキュリティ管理の施策に加えて、脆弱性管理ツールやセキュリティ リスク ツール、攻撃対象領域管理ポータル、CMDB、GRC システムなど、サード パーティー製のさまざまなツールからデータを収集したとしても、それを実用的なリスク スコアとして正規化するための一貫したアプローチがありません。結果として、サイバー リスクの定量化や低減に向けた施策は一貫性に欠けたものとなり、組織としてのリスク軽減の取り組みの効果はやがて損なわれていきます。

ソリューション：サイバー リスクを定量化および軽減する強力なフレームワーク「Zscaler Risk360」

Zscaler Risk360 は、リスクの定量化と可視化を行う強力なフレームワークで、サイバーセキュリティ リスクの修正に役立ちます。外部ソースと Zscaler 環境から実際のデータを取り込み、リスク状況に関する詳細なプロファイルを生成します。

Risk360 のモデルでは、攻撃の 4 つの段階にわたって、データに基づく 100 を超える要素を活用します。

Risk360 の仕組み

Risk360 では、お客様のサイバー セキュリティ環境内に存在する 100 を超える要素を活用して、財務損失の見積もり、サイバー リスクを高める主要要因、推奨される調査ワークフロー、リスク傾向、同業他社との比較情報を確認できます。

また、具体的な行動に生かせる CISO 向けの概要レポートを作成できます。Risk360 のモデルは、攻撃の 4 つの段階をカバーしています。すなわち、攻撃対象領域の露出、侵害、水平移動、情報漏洩です。資産、アプリケーション、従業員、サード パーティーなど、環境内のあらゆるエンティティーが対象になります。

Risk360 の主要機能

標準化された総合リスク スコア：Zscaler が制御するサード パーティー製の関連セキュリティ ツールから、企業の全体的なセキュリティ リスクを算出します。

財務的な影響の見積もり：モンテカルロ法の解析結果範囲を含む、サイバー リスクが引き得る財務面への影響を試算します。

リスク傾向の経時的な測定：組織のリスクへの対応状況や、同業他社と比較したサイバー リスクの傾向を確認できます。

リスク スコアは攻撃の 4 段階に対応する形で分類されます。

- **攻撃対象領域の露出状況**：攻撃対象領域の露出状況を追跡し、悪用され得る脆弱性、深刻性レベル、脅威にさらされ得る外部向けのサーバーや資産を確認できます。
- **侵害のリスク**：悪意のあるファイル、ゼロ号患者のエクスポージャー、感染の兆候を示すユーザーに関する情報を通じて、攻撃者による侵害リスクを把握できます。
- **ラテラルムーブメントの可能性**：企業全体のセグメンテーション制御の成熟度を評価できます。
- **情報漏洩のリスク**：ユーザー、デバイス、アプリケーションからの情報流出のリスクを確認できます。

リスクの分類：リスクの要因をユーザー、サードパーティー、アプリケーション、資産といったエンティティーに分類して可視化できます。

推奨される対応の提示とワークフローのガイド：攻撃と侵害のリスクを速やかに軽減するための情報を提供します。

取締役会向け概要レポート、リスク マッピング、ガイダンス：取締役会向けのサイバー リスク レポート、AI を活用したサイバーセキュリティ成熟度評価、MITRE ATT&CK や NIST CSF などのセキュリティリスク フレームワークへのマッピングをエクスポートする「取締役会向けスライド」機能を備えています。また、SEC Regulation S-K Item 106 への準拠をサポートします。

主なメリット

- ❖ **強力なリスク定量化機能**により、ビジネスを脅かすようなサイバーリスクや財務上のリスクを追跡できます。
- ❖ **サイバー リスクを高める主要な要因を把握**し、その要因についてさらに詳しく確認することが可能です。
- ❖ **サイバー リスクの自動測定**プロセスにより、スプレッドシートやサードパーティー ツールを監視するチームの負担を軽減できます。
- ❖ **より効果的でプロアクティブなセキュリティ態勢**を実現できます。デバイス、システム、データ、ユーザーに至るまで、リスクとなっている主要な問題を先回りで軽減することが可能です。
- ❖ **リスクに関するより生産的な議論**を経営陣と行えるようになります。一貫したリスク スコアリング、リスク フレームワーク マッピング、SEC コンプライアンスのサポート、そして取締役会向けの合理的なレポート作成機能が役立ちます。

Risk360 の詳細については、**Zscaler の Web ページ**をご覧ください。